

2014年  
11月18日  
火曜日

田 禾 准教授（人文科学・中国語学）

# 11月11日は何の日

正解は一つではありません。実はこの日を算用数字で表記すると1111となり、漢字で書くと「十一十一」となることから、日本記念日協会において認定された記念日の中ではこの日が一年中でもっとも多い日となっているらしい。「もやしの日」、「電池の日」、「麺の日」、「ポッキー&プリッツの日」など、多くの企業はこの日のイメージを利用して、記念日になっている。中には、日本靴下協会はこの日を「ペア」の日にして、恋人の間で靴下をプレゼントしようと呼びかけている。この「恋人たち」の日と逆に、中国では、11月11日は「光棍節（グァングンジェ）」だ。「光棍」の意味は結婚していない、子供も持っていない男性のことを指す。今は「シングルデー」となって、男女問わず、すべてのシングルたちが楽しむ祝日になった。

90年代に南京の大学生たちが恋人のいない独身者のことをからかって、「シングル」の状態を祝い祭りを行ったのが始まりで、近年は全国的なものとなった。各地で「独身者パーティー」が開かれたり、寂しいシングル同士が集まってお酒を飲みながら、憂さ晴らしが行われる。また、独身だからこそ、自由自在な生活をおくることができ、存分に楽しい日々を祝いすると考えている人もいる。もちろん、この日から独身とサヨナラしようと思つて、お見合いパーティーもある。これで、寂しい気持ちから楽しい祝日になった。

える」ことを中国語では「過年」と言う。伝説の中では「年」というのは怪獣であり、12月最後の日に人間の子供を食べに来る。子供を守るために、爆竹の音を立てこの怪獣を脅かす、大人たちも出来るだけ一晩寝ないようにする。万が一の場合に、お年玉も用意する。このように万全な手段を施し緊張した心境で「年」を待つことから、いつの間にか楽しく年を迎えるようになった。

もちろん、すべてマイナスからプラスにするための祝日ではない。感謝の気持ちを伝えるために、いろいろな祝日がある。たとえば旧暦の9月9日は両親に感謝そして長生きするようにとお祈りする「重陽節」である。中国語で9の発音は「久」と同じであるし、更に単数の中で9が一番大きいので、「寿命が長い」と縁起のいい話になった。伝統の祝日以外には、外来のものもある。私たちが女性として一番好きなのは3月8日の「婦人デー（international women's day）」だ。アメリカから始まった男女平等のために行った活動を記念するため、1975年より国連がこの日を記念日として決めた。この日が好きな理由は高校の時から女子学生は半日授業の代わりに無料で映画が見られたので、嬉しかったのだ。外国からのバレンタインデーも近年中国で定着して、2月14日当日に向けて「愛の告白グッズ」の商戦が盛んである。これと同様に、11月11日の「光棍節」が近付くと、「独身者」をターゲットとする激しい販売競争が展開される。どんな祝日も最後にはすべて経済的な行動になってしまうのも共通の一点だと思われる。